



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月25日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <https://www.shimano.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務管理部長兼経理部管掌 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	126,071	△12.5	28,009	△26.4	28,596	△27.4	20,203	△29.7
2022年12月期第1四半期	144,047	13.9	38,033	16.8	39,395	6.6	28,740	0.5

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 29,713百万円(△46.5%) 2022年12月期第1四半期 55,523百万円(19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	223.11	—
2022年12月期第1四半期	314.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	825,410	752,998	91.1
2022年12月期	826,413	741,095	89.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 751,874百万円 2022年12月期 740,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	117.50	—	142.50	260.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	142.50	—	142.50	285.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	254,200	△16.3	49,700	△38.6	53,700	△41.7	38,700	△43.6	428.09
通期	460,000	△26.9	83,000	△50.9	96,500	△45.3	69,500	△45.8	768.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 1 Q	91,160,100株	2022年12月期	91,160,100株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期 1 Q	758,720株	2022年12月期	531,034株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期 1 Q	90,553,130株	2022年12月期 1 Q	91,519,666株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、物価上昇に対処するための各国の中央銀行による利上げや、長引くウクライナ情勢の混迷などが、世界経済の正常化に向けた重しとなりました。

欧州では、エネルギー需給逼迫への懸念緩和によるガス価格の下落や、政府による物価高への対策が経済活動を支えました。

米国では、良好な雇用情勢が個人消費を下支えしたものの、景気は政策金利引き上げ等の金融政策に左右され不確実性が高まりました。

中国では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動制限措置が緩和され、経済活動の正常化が進みました。

日本では、物価高が個人消費の下押し圧力となった一方、ウィズコロナの下、社会情勢が正常化の兆しを見せ、景気は緩やかに持ち直しました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は減速感を見せ、当第1四半期連結累計期間における売上高は126,071百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益は28,009百万円（前年同期比26.4%減）、経常利益は28,596百万円（前年同期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,203百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

新型コロナウイルス感染拡大前の日常生活への回復が進んだなか、自転車人気の過熱感は一服したものの、長期的なトレンドとして自転車への関心は継続しました。一方で、急速なインフレ高進など景気後退懸念により、完成車の販売は減速感が漂い、需給調整は進んでいるものの市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場において、欧州市場では、引き続き自転車に対する関心は高く、完成車の店頭販売はE-BIKEを中心に底堅く推移しました。市場在庫は一部の高級モデルで品薄感があつたものの全般的に高い水準で推移しました。

北米市場では、販売は弱含みで推移し、市場在庫は高い水準で推移しました。

アジア・中南米市場では、自転車への関心は底堅いものの、通貨安・インフレ高進を受けた消費者マインドの冷え込みにより販売はやや低調に推移しました。一方、中国市場では、アウトドアとしてのスポーツサイクリング機運の高まりからロードバイクを中心に販売は好調に推移しました。

日本市場においては、円安による完成車価格の高騰などもあり、販売の勢いは鈍り、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、ロードバイク向け高級モデルの新製品「105」や、電動アシストスポーツバイクコンポーネントSHIMANO STEPSシリーズをはじめとする製品を市場へ提供いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は98,298百万円（前年同期比16.8%減）、営業利益は22,123百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

② 釣具

各国において数年ぶりに釣具ショーが開催されるなどウィズコロナの動きが見え始めたものの、世界的な釣りへの関心は落ち着きを見せました。

日本市場においては、販売店において在庫調整の動きがあつた一方、高価格帯製品の需要は堅調でした。

海外市場においては、北米市場の販売は昨年と比べて弱含みで推移しました。

欧州市場では、トルコ・シリア大地震の影響はほぼなく、安定した需要に支えられ販売は堅調に推移しました。

アジア市場では、釣り文化の浸透につれて釣りへの関心も高まり、販売は好調を維持しました。年頭に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた中国市場では、2月以降は市場が正常化し、釣行の機運の高まりにも支えられ、販売は好調に推移しました。

豪州市場では、需要に陰りが見え始めたものの、良好な釣況も手伝い、販売は堅調に推移しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「VANQUISH」や最高級モデルのルアーロッド「WORLD SHAULA LIMITED」などは市場から高く評価され、多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は27,670百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は5,894百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は103百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業利益12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は825,410百万円（前連結会計年度比1,003百万円の減少）となりました。これは、商品及び製品が13,232百万円、機械装置及び運搬具が1,038百万円それぞれ増加し、現金及び預金が11,296百万円、仕掛品が2,175百万円、受取手形及び売掛金が1,764百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は72,411百万円（前連結会計年度比12,907百万円の減少）となりました。これは、未払法人税等が9,702百万円、買掛金が1,715百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は752,998百万円（前連結会計年度比11,903百万円の増加）となりました。これは、為替換算調整勘定が9,443百万円、利益剰余金が7,288百万円、自己株式が4,895百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間において、市場在庫は総じて高い水準であり、需給調整に伴い、大きく膨らんだ当社グループへの注文の見直しが進んでいる現時点の動向を踏まえ、次のとおり変更いたします。

2023年12月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値の変更（2023年1月1日～2023年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	254,200	49,700	55,700	40,200	443.57
今回修正予想 (B)	254,200	49,700	53,700	38,700	428.09
増減額 (B-A)	—	—	△2,000	△1,500	
増減率 (%)	—	—	△3.6	△3.7	
前年第2四半期（累計）実績 (2022年12月期 第2四半期)	303,686	80,909	92,123	68,558	750.68

2023年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	500,000	105,000	119,500	86,500	954.44
今回修正予想 (B)	460,000	83,000	96,500	69,500	768.79
増減額 (B-A)	△40,000	△22,000	△23,000	△17,000	
増減率 (%)	△8.0	△21.0	△19.2	△19.7	
前期実績 (2022年12月期)	628,909	169,158	176,568	128,178	1,408.22

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,429	419,132
受取手形及び売掛金	55,201	53,436
商品及び製品	79,966	93,199
仕掛品	42,733	40,558
原材料及び貯蔵品	8,209	7,547
その他	12,523	13,518
貸倒引当金	△310	△339
流動資産合計	628,754	627,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,239	76,933
機械装置及び運搬具(純額)	25,600	26,639
土地	13,936	13,965
リース資産(純額)	5,205	5,498
建設仮勘定	18,749	18,399
その他(純額)	6,513	6,487
有形固定資産合計	147,244	147,924
無形固定資産		
のれん	3,065	3,016
ソフトウェア	10,059	9,754
その他	6,716	7,293
無形固定資産合計	19,841	20,064
投資その他の資産		
投資有価証券	19,694	19,770
繰延税金資産	6,728	6,241
退職給付に係る資産	2,645	2,677
その他	1,941	2,105
貸倒引当金	△436	△425
投資その他の資産合計	30,573	30,368
固定資産合計	197,659	198,356
資産合計	826,413	825,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,595	18,879
短期借入金	2,151	2,370
未払法人税等	21,899	12,197
賞与引当金	3,682	3,047
役員賞与引当金	198	62
その他	30,081	28,439
流動負債合計	78,608	64,997
固定負債		
繰延税金負債	2,522	2,884
退職給付に係る負債	1,210	1,283
その他	2,976	3,245
固定負債合計	6,709	7,413
負債合計	85,318	72,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	638,141	645,429
自己株式	△12,909	△17,805
株主資本合計	666,485	668,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,537	3,466
為替換算調整勘定	70,085	79,528
その他の包括利益累計額合計	73,623	82,995
非支配株主持分	986	1,124
純資産合計	741,095	752,998
負債純資産合計	826,413	825,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	144,047	126,071
売上原価	83,069	73,770
売上総利益	60,978	52,300
販売費及び一般管理費	22,944	24,290
営業利益	38,033	28,009
営業外収益		
受取利息	373	3,924
受取配当金	88	219
為替差益	800	-
その他	327	163
営業外収益合計	1,588	4,306
営業外費用		
支払利息	33	57
寄付金	69	41
為替差損	-	3,076
その他	123	545
営業外費用合計	226	3,720
経常利益	39,395	28,596
特別損失		
減損損失	593	-
子会社再構築費用	441	-
工場建替関連費用	69	196
特別損失合計	1,104	196
税金等調整前四半期純利益	38,290	28,399
法人税、住民税及び事業税	9,744	7,293
法人税等調整額	△258	824
法人税等合計	9,486	8,117
四半期純利益	28,804	20,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,740	20,203

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	28,804	20,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△70
為替換算調整勘定	26,303	9,501
その他の包括利益合計	26,719	9,430
四半期包括利益	55,523	29,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,410	29,575
非支配株主に係る四半期包括利益	113	137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年4月26日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2023年3月14日に普通株式227,600株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が4,895百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	118,176	25,767	104	144,047	—	144,047
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	118,176	25,767	104	144,047	—	144,047
外部顧客への売上高	118,176	25,767	104	144,047	—	144,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	118,176	25,767	104	144,047	—	144,047
セグメント利益又は損失(△)	32,455	5,564	12	38,033	—	38,033

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	98,298	27,670	103	126,071	—	126,071
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	98,298	27,670	103	126,071	—	126,071
外部顧客への売上高	98,298	27,670	103	126,071	—	126,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	98,298	27,670	103	126,071	—	126,071
セグメント利益又は損失(△)	22,123	5,894	△8	28,009	—	28,009

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。